

さいたま



キャリア教育センター通信 2014年6月



7/14(木)

埼玉県男女共同参画推進センターWithYou さいたま後援

本気で「好き」を仕事にする女性のための講座 ターゲット分析&広報戦略

本気で「好き」を仕事にする女性のための講座です。

「ターゲット分析」とは、商品やサービスに対してお金を払ってお客さんになってくれる人が、どこにどのように存在するのかを明らかにすることです。

自分の商品やサービスが、それを必要とする方に届くよう、ビジネスの世界で活用されている分析方法を体験し、自分だけの広報戦略を考えてみませんか？分析したワークシートはそのまま持ち帰れます。

講師：古川晶子さん（さいたまキャリア教育センター代表理事）

人材ビジネス・人事コンサルタント会社等を経て2006年より独立。「人と仕事の幸せな関係性」をテーマに講演、執筆など。2013年に、一般社団法人さいたまキャリア教育センターを立ち上げ。ミッションは「さいたま発、キャリア教育で幸せに働ける社会へ」。

日時：2014年7月14日（月）10:00～12:00

会場：WithYou さいたま（さいたま新都心駅徒歩5分、北与野駅徒歩8分）

参加費：1,000円

定員：30人



7/16(水)

埼玉県男女共同参画推進センターWithYou さいたま後援

帝王切開ママの会 @ WithYou さいたま(子連れ参加OK)



帝王切開を経験した女性のための小さな集まりです。育児や家事に追われる日々の中で心にかぶせた「フタ」を取って、素直な気持ちを話せる場所をご用意しました。お気軽にご参加ください。終了後は交流スペースでのランチ交流もあります(自由参加、ランチは各自持参ください)。

講師：細田恭子さん

(さいたまキャリア教育センター理事・帝王切開カウンセラー)

帝王切開で3姉妹（現在は大学生と高校生）を出産し、2000年にホームページ「くもといっしょに」を開設。ユーザー発の帝王切開情報の草分け的存在として知られ、10年以上にわたり、各地で「帝王切開ママの会」を開催している。2013年8月、初の書籍『ママのための帝王切開の本』（共著）を出版。

くもといっしょに <http://www.5a.biglobe.ne.jp/~withkumo/>

日時：2014年7月16日（水）10:00～12:00

会場：WithYou さいたま（さいたま新都心駅徒歩5分、北与野駅徒歩8分）

参加費：1,000円

定員：5人



はたらくらぶカフェ

働くことに愛を感じるトークセッション

7/29(火)第20回 のら新井さんと学ぶ埼玉

<行政と協働するってどんなこと?>



好評企画「のら新井さんと学ぶ埼玉」シリーズは、「県政出前講座」の職員さんと、ヘルシーカフェのら店主・新井純子さんのトークセッション、今回のテーマは「行政との協働」です。社会状況の変化につれて、地域の行政サービスのあり方も変化しています。近年は、行政が地域の課題解決にかかわる経験や資質をもつ個人や市民団体などと積極的に連携する「協働」の動きがあり、多くは地域のNPOがその相手となっています。埼玉県における「協働」の取り組みについて学び、ご自分の活動に役立ててみませんか。県職員さんからの情報提供とともに、「協働」の経験豊富な新井純子さんに、「民」の側からみる「協働」についてもうかがいます。行政との共催事業などに携わる方には、特にオススメです。

ゲスト：新井純子さん（ヘルシーカフェのら店主）

1998年、大宮市（当時）で女性の自主学習グループ「あれあれあ」を結成、女性の自立や家族関係などをテーマとするワークショップを埼玉県内で展開。「孤から個へそして人とつながって」で、日本女性学習財団2008年度「女性の学習の歩み」実践・研究レポート佳作入選。2009年より、さいたま市南区で、子連れにやさしいコミュニティカフェ「ヘルシーカフェのら」を運営。埼玉産野菜をふんだんに使ったランチと、さまざまなワークショップが行われる「広場」から多彩なネットワークが広がっている。

花田洋司さん（埼玉県共助社会づくり課主査）

日時：2014年7月29日（火）14:00~15:30

会場：ヘルシーカフェのら（さいたま市南区鹿手袋7-3-2 電話048-607-3007）

参加費：2000円（1ドリンク付）

定員：15名

理事コラム「身近な人にこそ、伝えたい」

▼昨年8月に「ママのための帝王切開の本」を出版したところ、本を読んで下さった方からメールをいただくようになりました。そのほとんどが辛く苦しい気持ちなのです。▼「誰にも言えませんでした」「私だけが自分の身体に傷をつけた子どもを憎いと感じていると思っていました」「毎日毎日怖くて怖くて、泣いています」「誰も私の声を聞いてくれる人がいません。一人でじっと耐えています」「本を読んで、やっと医師に聞きたいことを聞けました」▼そんなみなさんの気持ちを伝える機会をいただきました。5月29日のNHK「おはよう日本」で帝王切開出産についての特集があり、私のインタビューも放送される予定です。▼「身近な人たちにこそ、こんな言葉が辛い、悲しいと伝えないと、なかなか偏見はなくなりませんよね」という記者の言葉に「まさにそこが課題です！」と答えました。▼出産に限らず、身近な人に自分の素直な想いを伝えることって本当に難しいですね。でも身近な人だからこそ“心配”や“期待”から相手の心に踏み込み過ぎてしまうことも多いのです。自分の一言を相手はどう受け止めるか、ちょっと考えてみることも大切です。

（細田恭子）

